

古河歴史見聞録

大阪 春の乱 鷹見泉石と大塩平八郎

40日におよぶ逃亡

天保8(1837)年3月27日、朝七ツ半(午前5時)ごろのこと。大坂在勤の古河藩士たちが、音もなく大坂油掛町(大阪市西区靱本町)の染物屋美吉屋五郎兵衛宅を包囲します。このとき、美吉屋には大塩平八郎が潜んでいました。前月19日に発生した大塩平八郎の乱の首謀者で、乱の鎮定後、約40日間も行方を晦ましていたのです。

大坂の困窮と武装蜂起

江戸の三大飢饉の一つである天保の飢饉では、天下の台所と称された摂津国大坂(大阪市)でさえも物資の流入が滞り、天保7、8年ごろは毎日百人を超える死者を出



▲谷文二筆 大塩平八郎之像

す危機的な状況が続いていました。元大坂町奉行所の与力、大塩平八郎(1793~1837年)は、市中に餓死者が増え続けることに心を痛めて、大坂町奉行の跡部良弼宛てに貧窮する民に対する蔵米の放出や豪商による米の買い占めの禁止を求める献策を行います。

しかし、その上申は聞き入れられませんでした。大塩平八郎は、所持する全ての蔵書売り払い困窮民への救済活動が続けます。やがて大塩は、米を買い占める豪商や汚職にまみれた役人たちへ天誅を加えることを考えるようになります。

そして天保8年2月、彼の私塾である洗心洞の門弟や近郷の農民に対して檄文を送り決起を促します。大塩の企ては、大坂東町奉行の跡部良弼と前年西町奉行に着任した堀利堅の爆殺と、買い占められた米を貧民に分かつことでしたが、奉行暗殺も失敗に終わり反乱も半日で制圧されました。

届かなかった建議書

ところで、乱後に大坂を離れたいた大塩平八郎は、なぜ危険をおかして再び大坂市中の油掛町に戻ったのでしょうか。彼は、蜂起前日の2月18日、大坂町奉行管内における汚職、大名や旗本の不正行為を調査し、江戸の幕閣に宛てた建議書を送付していました。いささかでも世の中が変わることを期待して大坂に戻ってきた大塩の望みとは裏腹に、その建議書は、汚職発覚を恐れた町奉行所による指示で、幕閣に披露されずに大坂へ返送されています。

ちなみに後日、公用荷物として返送された大塩平八郎の建議書は、箱根を過ぎた伊豆国塚原新田付近(静岡県三島市)に捨てられた状態で発見されました。荷物を請け負った清蔵なる人足は「風と欲心差越」してその荷の中に金目のものがないかと開封、書類を破棄したのです。読み書きのできない清蔵には、大塩建議書の持つ意味

を理解できるはずもなかったのでしょう。もはや公的な荷物もともに届かぬほど、世の中は乱れていたのです。

大塩最期

潜伏先の美吉屋を取り囲まれた大塩平八郎の最期は、生け捕りにはほど遠く、養子格之助を刺し殺し、自らの喉に脇差を突き立てた後、脇差を投げ付け、土蔵に立て籠もり火をかけるという壮絶なものでした。その様子は捕縛を指揮した古河藩家老、鷹見泉石の日記に詳述されています。

その焼けただれた亡骸ゆえに、大塩平八郎はいまだ生きているという風聞が流布しました。世直しを切望する民の中に、大塩は、伝説として生き続けていたのかもしれない。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

【児童/読み物】 イッカボッグ

J.K.ローリング 著
豊かなコルヌコピア王国の北部にある、暗くて霧深い土地。伝説によると、そこにはイッカボッグという怪物が棲んでいて…。伝説の怪物をめぐる真実、希望、友情の物語。子どもたちによる挿絵コンテスト入選作品もカラー掲載。

出版社…静山社

【絵本】

ちいさなかわいいおべんとうばこ

宮野聡子 作

ひめちゃんが野原に忘れていったおべんとうばこ。それを見つけたのは、森の動物たちでした。みんなそれぞれにおべんとうばこを使って楽しめます。戻ってきたひめちゃんが、おべんとうばこをあけてみると…。

出版社…小学館

図書館の本棚から



三和図書館

【一般/海外旅行ガイド】 いつかは行きたい一生に一度だけの旅BEST500

野生動物の宝庫で手漕ぎ船に乗る、ぶどう園に泊まって美食に溺れる、神秘の青い水海を眺めてトレッキング…。「水上」「美食」「文化に親しむ」など9つのシチュエーション別に他にはない旅500を美しい写真とともに紹介する。

出版社…亜紀書房

【一般/小説】

ぼくもだよ。

平岡陽明 著

神楽坂に盲導犬と住まうよう子は、盲目の書評家。隔週の木曜日、出版社の担当・希子との打ち合わせを兼ねたランチを楽しみにしていた。一方、神楽坂で古書店を営むバツイチの本間は、5歳の息子と週に一度会えるのが木曜日で…。

出版社…角川春樹事務所

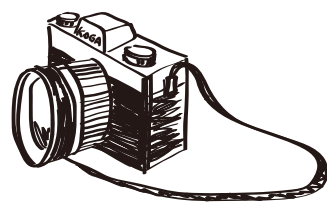
1937 昭和12年



提供：吉田歯科医院

香取村村会議員の任期満了記念に香取村役場(現：釈迦57-2)前で撮影された写真です。着物だけでなくスーツに身を包む人もいることから、和装から洋装への転換期であったことが伺えます。
【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティプロモーション課(Tel.92-3111)までご連絡ください。

古河 今昔物語 Time Travel Photograph



2021 令和3年

